

HETEROSIDES

(ヘテロサイド)

炎症による表皮の分化を正常化し、角化不全による肌のクすみ、炎症斑を抑制

【特長】

マダガスカル由来の天然の希少なパウダーエキス
高いトレサビリティ、国連フェアトレード成分
医薬品レベルの高い活性：表皮の分化の正常化

【コンセプト】

ヘテロサイド(Heterosides of Centella Asiatica)とは、日本ではツボクサと呼ばれるセリ科の植物の葉から得られた精製エキスです。

ツボクサは、西洋ではセンテラアジアチカ(一般名: Centella Asiatica / マダガスカル名: Talepetraka)として知られ、マダガスカルに代表される亜熱帯地域に広く生息する野生の多年草です。

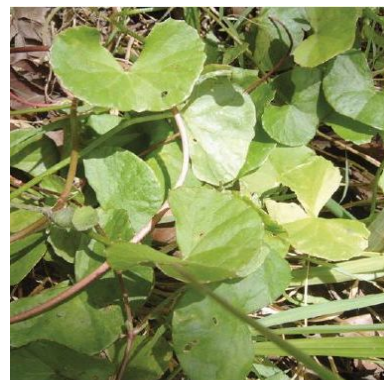
野生のトラが傷ついた時にツボクサに体をこすり付けて治したという伝説もあり、別名タイガーズハーブとも呼ばれております。また、動物にとどまらず、ツボクサには優れた創傷治癒効果があり、古来より民間療法の薬として珍重されてきました。



ヘテロサイドは、手付かずの自然に包まれたマダガスカルに天然自生するツボクサの葉を、一枚一枚丁寧に「手摘み」で集め、現地で厳しい品質検査を受け、合格したもののみを南フランスのバイエルの GMP 工場にて高純度精製したパウダー状のエキスであり、現地では医薬品用に用いられているものと同等の品質となっています。

センテラアジアチカ(ツボクサ)には、主に4つの機能的成分があり、特に皮膚ダメージ後の初期反応である「**炎症**」と炎症から誘導される「**表皮角化不全**」に強い作用をもつ2成分が**アジアチコシド**(表示名称: アジアチコシド)、**マデカツソシド**(表示名称: マデカツソシド)といい、「**配糖体成分(ヘテロサイド)**」に分類される有効成分です。

ヘテロサイドの 2 成分により、皮膚の再生に必須な4つのステップの内、初期に重要な「**炎症**」「**組織再編**」の調整が活性化され、特にヘテロサイドの主成分であるマデカツソシドの効果試験においては角化不全である乾癬(Psoriasis)、肘やひざなどの**炎症斑**へ高い効果があります。



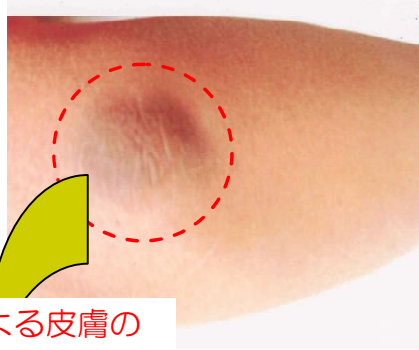
その点で、センテラの活性成分の濃縮エキスである**ヘテロサイド**は、紫外線などのストレスや加齢により乱れた皮膚の代謝を調整し、正常化することで、「**炎症を原因とする肌のクスミ(炎症斑、肝斑など)**」の改善の一助をなします。

【効果・効能】

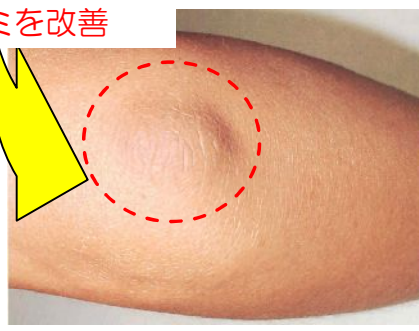
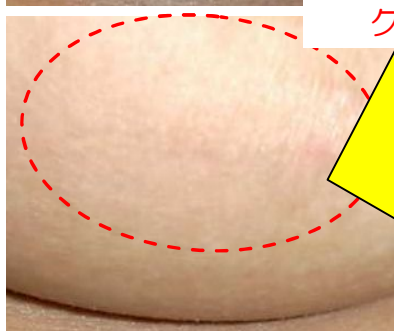
【アンダーバストの炎症斑】



【肘に出来た黒い角化不全】



炎症による皮膚の
クスミを改善



ヘテロサイドの添加により、
肝斑や日光斑など炎症による角化不全を一因とするシミ・クスミ(炎症斑)に効果が見込めます。

【商品情報】

商品名： Heterosides of C.A (ヘテロサイド)

表示名称：ツボクサ葉エキス

医薬部外品表示名称：お問い合わせ下さい

製造元： Bayer Sante Familiale(仏)